

事例13

< 事例概要 >

(胃瘻カテーテル交換)

- ・80 歳代、高血圧、左半身麻痺がある、在宅療養中の患者。BMI不明。
- ・6 か月前、当該医療機関で胃瘻造設。初回カテーテル交換のため同医療機関外来を受診（交換前の胃瘻カテーテルはバンパー型）。
- ・カテーテル交換方法は不明。バルーン型カテーテルを挿入。交換後、単純CT検査で、胃瘻カテーテルの先端が横行結腸内に確認され、造設時にカテーテルが横行結腸を穿通し、胃内に留置していたことが判明。
- ・カテーテルを抜去し、穿刺部の自然閉鎖を待ち、胃瘻を再建する予定とし入院した。交換 4 日目に突然呼吸停止し、翌日に死亡。
- ・死因は、不明。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。